森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　平成２７年１月１日発行　通巻第２２６号

森のなかま

２０１５年１月号
ＮＯ．８１（継続２２６号）

ＮＰＯ法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　発行人　久保　重明
〒243－0014　厚木市旭町１丁目８－１４・グリーン会館　ＴＥＬ046－280－4101・ＦＡＸ046－280－4102

“　新年明けましておめでとうございます　”

＜　理事長　久保　重明　＞

皆様には、よいお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年も年の初めに山の神祭でスタートし穏やかな１年を期待しましたが、活動回数は一昨年に比して増し、忙しい年となってしまいました。それにも関わらず大過なく一年を終えられたことは皆様のご努力の賜物だと改めて感謝申し上げます。

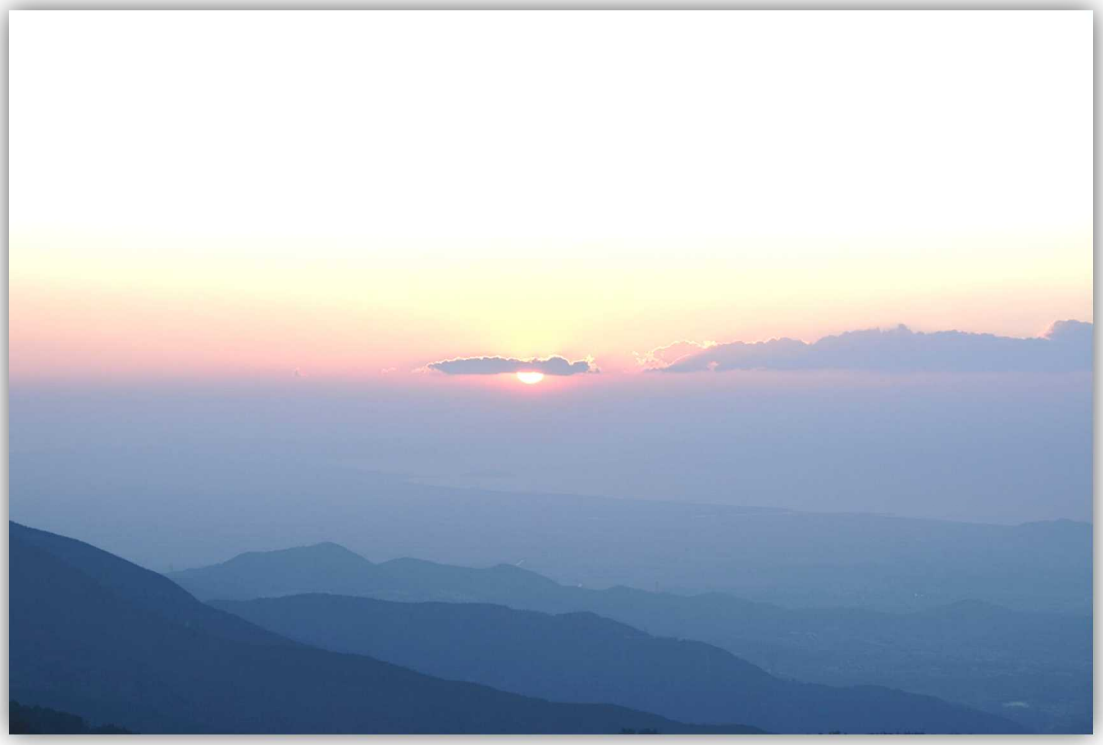
昨年度を振り返り、今年の活動にも関連する行事を拾ってみますと、3 月 8 日には「成長の森」の植樹会が 21 世紀の森で開催されました。以前とは違い親子自ら穴を掘り次世代の花粉病対策として育てられた無花粉スギの植樹を行っています。7 月 31 日には小論文審査を通った森林インストラクター志願者の面接が行われ 32 名合格し、これから 1 年余りの研修を終え 11 月には新たに仲間となります。8 月 16 日には「水源の集い」が開催され例年よりずっと多くの 500 名余の方々の参加を頂きました。森林再生パートナーとの異業種情報交換会も行われ、これまでに増して盛り上がりがありました。

さて昨年度、これまで会の動きと一寸違うものとして、かながわトラストみどり財団の働きかけもあり森林部会が中心となり、会員に呼び掛け里山の森林整備を本格的に始めたことが挙げられます。ここ数年、財団の「山のみどり、町のみどり」に取組む姿勢に沿って事業企画委員会や事務局が里山に取組むべしとの狼煙を上げてきましたが、なかなか進まずやっとスタートの緒に就きました。これからいろいろ多難のことがあるとは思いますが、会の新たな一つの方向として育ってもらいたいと思っております。

昨年暮れに自然環境保全センターにお伺いした折、伊勢原で熊や猪がしばしば現れ対応を相談されているとのことでした。これも里地里山を長い間放置し人間と野生動物の境界がなくなったことが大きな要因のようで、会としても考えなければならない大きなテーマだと思っております。

今年は理事改選の年で、年度初めには多少の混乱はあるとは思いますが、健康に留意し、技術を磨き、創立当時の高い理想を思いだしこの一年をやって行きましょう。

【初日の出】



写真：（鍋割山頂より江の島方面）小池　哉（12期）

自然観察部会　第79回森林探検訪　相模湖嵐山「晩秋の相模湖を楽しむ」

11月29日（土）、曇りのち雨、参加者35名（男性18名、女性17名）

＜ 自然観察部会　鳥飼　一俊　11期 ＞

ミシュランガイドに載った高尾山には毎日おおぜいの登山者が訪れますが、たった一駅先というだけなのに、嵐山を訪れる人は極端に少なくなります。しかし、紅葉の多様な美しさと水のある風景は決して引けを取りません。そんな思いを込めた今回の森林探訪でしたが、雨にたたられてしまいました。

今にも降り出しそうな雲行き。それでも山好き、自然大好きの参加者35名は張り切って出発しました。相模川は、この辺りではカツラの木が多かったため桂川と呼ばれています。黄葉したカツラは美しく、また芳香を発するのでみんな大好きです。

カツラの香りを楽しんでいます

カツラの黄葉

湖は下流域に住む私たちの飲み水であり、電力源でもあります。ダムは私と同じ歳、老朽化が進み、メンテの為、今日は堤頂を通行できません。

嵐山にはカエデ類が多く自生し、この季節は最高の色模様です。登り始めると、黄葉のイタヤカエデ、エンコウカエデ、カジカエデなどがまず顔を見せ、やがてイロハモミジ、オオモミジ、メグスリノキなどの紅葉に変化していきます。カエデ類だけでなく透き通るような黄色のアブラチャンやクロモジの小さな落葉が山道を敷き詰めています。素敵なシラキの葉のグラデーションやアワブキの愉快な冬芽も見ることができました。

しかし、楽しい山歩きも頂上に着く頃、雨は本降りになり、相模湖の眺望も真っ白いベールの彼方です。全く残念。頂上を越えて鼠坂まで下る予定でしたが、ここで引き返します。ここから先は木橋が何本もあり、雨中は滑りやすく危険が増します。お客様ごめんなさい。安全第一です。心を鬼にしての予定変更でした。

鼠（ねん）坂から渡し船で湖面から嵐山の裾模様を堪能するつもりでしたが、それも断念。そそくさとお弁当を食べて、来た道を下山しました。帰路、相模湖大橋からオシドリが湖面を渡る姿が見られ、残念さも少しは和らいだでしょうか。

面白そうな話はなんですか

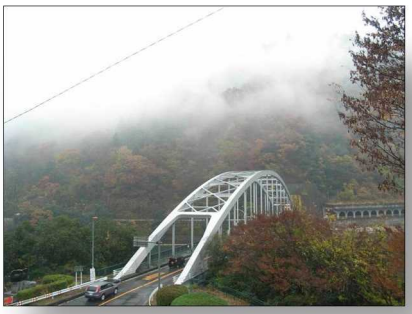
紅葉の先に湖が少し見えます

晩秋の山道は楽しい

山頂で雨中のお弁当、湖面は真っ白

（写真撮影：小林富二男　氏　⑩、鳥飼一俊　氏　⑪）

帰路の雨に煙る嵐山と大橋



スタッフ

(公財)かながわトラストみどり財団　：　坂下様、　佐々木様、　看護師　青木様

インストラクター：Ｌ鳥飼⑪、鈴木⑥、小林⑩、海野⑩、松永⑪、大塚⑪、大橋⑪、赤崎⑫、小川⑬、長尾⑬、松石⑬

“伊勢原市三ノ宮での里山保全活動”

＜ 森林部会　三ノ宮里山保全活動チーム　足立　功 ＞

永年の懸案であった用地の確保が、トラストみどり財団内海課長と伊勢原森林組合平田専務理事の御尽力、それに地主の佐野組合長をはじめとする三ノ宮生産森林組合のご厚意によりついに実現し、会としての里山保全活動が、今年度から始まりました。

場所は相模三ノ宮の比々多神社の近くで、高取山へと続く聖峰ハイキングコースの登山道脇で、広さ約2．3haの斜面地で、クヌギ・コナラを主要木とする雑木林ですが、永年放置されていたため、カシ・アオキ類が繁茂し竹や笹も多く侵入している、典型的ともいえる「荒れた」森です。

活動場所

私たちは、今年から5年間の計画で、繁茂しているカシ・アオキ類と竹と笹を除伐し、クヌギ・コナラを主体として明るく多くの種類の草木が育つ森に再生しようと、原則として月2回の活動日を設け、整備活動を始めました。そして幸いにも、7月に今年から3年間林野庁所管の交付金が受給できることになりましたので、資金面での不安もほぼ解消し張り切って活動に取り組んでいるところです。

細いとはいえカシ類は硬くて枝も大きく広がっているので手こずることもありますが、除伐した後は見違える程明るくすっきりとした森になり、毎回やりがいと手ごたえを感じつつ、作業をしています。

作業風景2

作業風景1

現地の説明をする足立さん

聖峰のハイキングコースの登山道からこの活動地の様子を見ることができますので、機会がありましたら訪れてください。

（写真撮影：足立　氏、　広報部　松本）

山の神社と参道九十九曲登り口

森林文化部会『 伝統文化に関わる研究実践 』

正月飾り(しめ縄)等　やどりき休憩棟にて　11月14日(日)

まずはDVDで予習

森林文化部会の日本の伝統文化の正月飾り(しめ縄)の製作等の研究実践が行われました。当日のやどりきの気温は1℃と寒かったのですが、皆さんは経験した事の無い藁打ち、撚り等の力仕事で熱くなり寒さも吹き飛ばしていました。

参加者）　井出①、鈴木⑤、齋藤武久⑥、白畑⑦、武者⑦、齋藤彰秀⑧、松村⑧、村井⑨、小笠原⑩、杉崎⑩、福島⑪、赤崎⑫、真部⑬、内田⑬、稲野辺⑬

（取材　広報部）

次に斎藤⑥師匠の実践指導

藁打ち

撚り

完成です。出来栄えは○

活　動　短　信

今回の掲載は
10月25日～11月8日(一部)
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで上記期日前や次号以降の掲載になるものもあります。
予めご了承下さい。

霜降　～　立冬

◆ 神奈川トヨタ　第30回プリウス森木会
「みつまたの移植と自然観察」

日　10月25日(土)・26日(日)8:00～15:30
場　やどりき水源林
参　両日とも約50名、スタッフ各11名
県　10/25　武田様、10/26　坂井様
看　両日とも萩原様
イ

10/25:L森本⑤、井出①、高橋恒③、高崎④、伊藤⑦
福島⑪、山下⑪、安井⑫
10/26:L森本⑤、高崎④、相馬⑤、白畑⑦
宮下⑩、福島⑪、山下⑪、大原⑬

累計参加者数２５００名を誇るプリウス森木会は平成１０年にスタート。今回は、第３０回という節目を迎えたことから、みつまたの移植をメインに採りあげた。

１家族１本限定の記念植樹（移植）ではあったが、実生苗の掘り出しから植え付けまで、一連の作業すべてを体験していただくことで顧客満足度も高かったようだ。

植栽場所は、ここ２年間の活動で準備をしてきた土留工（丸太筋工）の上部で、シカの不嗜好性植物であるみつまたを活用した緑のダムづくりの完成形と位置付けることが出来よう。今後、この丸太筋工・みつまた移植という活動メニューを売込していきたいと思った。

自然観察は森林癒し体験が中心で、人気のハンモック体験に加え、シカによる樹木の食害とヤマビル拡散の問題、森林と水の話など盛りだくさん。また、シカシチューの振る舞い鍋やお楽しみ大抽選会などもあった。緑の募金は、二日間で13168円もご協力いただいた。改めて感謝したい。

（記　森本　正信　５期）

◆ 横浜市立桜台小学校　林業体験（間伐）

日　10月25日(日)10:00～13:00、 曇り
場　長竹承継分収林
参　小学5年生96名、教師他7名
財　古舘様
イ　L伊藤⑦、渡辺③、小野⑦、武者⑦、小沢⑨、海野⑩、澤村⑫、西出⑫、星野⑬

晴れた秋空のもと、愛川ふれあいの村に５年生の子ども達が集まりました。

‘はじめの会’にて林業体験への抱負を伺い、バスに乗り現地へ。ヘルメット・鋸など間伐道具を装備し、いざ山へ入っていきます。

間伐の手順を伝えるインストラクターの話が始まると、子ども達は静かに耳を傾けています。間伐の効果についても、積極的に意見を出してくれました。

鋸を引く作業に入ると、はじめは、なかなか足場を確保できずに苦戦している様子です。しばらくすると作業に慣れてくる子もみられました。木の引倒しが成功すると、皆で分担・協力して、玉切り・枝払いなどの作業に入ります。よく手を動かしてくれています。

昼食時には、未だ手の入らない山が少なくないこと、険しい斜面の森林が多くあることなどの話をしました。山を下りてきて、道具の手入れをします。片づけが終わった後「楽しかった。もっとやりたい」との声がありました。

‘終わりの会’では「協力するという体験をもとに明日への活動へつなげたい」など、貴重な感想を頂きました。

（記　星野　澄佳　13期）

◆ 街頭キャンペーン川崎（第37回かわさき市民祭り）

日　11月1日（土）～3日（月・祭）

場　川崎市川崎区富士見公園・西スタンド 2F

参　三日間累計　825名

財　11/1：豊丸様、11/2、3：籾山様

イ

11/1：L森本⑤、国分③、渡辺③、足立④、鈴木⑤
小野⑦、渡部⑦、中島⑨、小笠原⑩、角田⑩、
大塚⑪、上宮田⑪、澤村⑫

11/2：L足立④、落合③、島岡③、安部⑤、鈴木⑤、
伊藤⑦、武本⑦、渡部⑦、草野⑧、青木⑩、
海野⑩、小笠原⑩、大塚⑪、中村⑪、山崎⑫、
溝田⑬

11/3：L森本⑤、高橋③、足立④、安部⑤、相馬⑤、
武本⑦、松本⑧、中島⑨、青木⑩、海野⑩、
中村⑪、松本⑪、宇田川⑬、星野⑬、真部⑬、
溝田⑬

市制90周年を迎える川崎市最大のイベントである「かわさき市民祭り」は、11月1日～3日までの三日間開催（来場者規模50万人）。数年に渡る川崎競輪場等の耐震補強工事の絡みから、今年の出店場所はバンク横の西スタンドにキャンペーン系の団体が集められ、私供は2F での出店となった。

正直、有利な出店場所ではなかったため、呼び込みとして「キャッチ」担当を新設し、現状で考えられ得る最強メンバーを、各日2名も投入した。

11/1：大塚⑪・上宮田⑪、
11/2：小笠原⑩・大塚⑪、
11/3：松本⑧・宇田川⑬

結果、見事に期待に応えてくれて抜群の集客力を発揮し、例年に迫る来場者数となった。

この紙面を借りて改めてお礼を記したい。今後とも出店条件には柔軟に対応していく。

（記　森本　正信　5期）

丹沢の自然再生に取り組む
丹沢大山自然再生委員会ホームページでご覧ください。
http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第5回

日　11月1日（土）9：30～12：30、　小雨

場　柿生の里　特別緑地保全地区

参　35名

ｽﾀｯﾌ　川崎市公園緑地協会　野牛様、川瀬様

イ　L山崎⑫、門澤⑫、源島⑬、溝田⑬、水上⑬

9：30に柿生駅前に受講生が集合。柿生中学校隣から登り、尾根筋に残されているいくつかの緑地保全地区、遊歩道を経て、「柿生の里特別緑地」へ。現地の里山ボランティアの方から『柿生の里クラブ』の紹介、保全管理等の説明。花の寺として有名な浄慶寺に隣接する1．9haで、農家跡地だった佇まいを残している。コナラ・クヌギ等の雑木林や竹林が分布する。

10：10～11：00の予定で座学「ツシマヤマネコと共生した地域づくり・・から、川崎の活動で学べること」をテーマに講師：關正貴氏。途中から小雨が降り出し、段々強くなり、傘をさしての講義を終了。予定されていた午前の学習・・・下刈り（アズマネザサ等の除去）、ヒサカキ等の間伐の作業は、雨の為に下刈りのみを可能な受講生で実施となりました。

午前の部12：30をもって、今回の講座を終了・解散となりました。雨天時の作業を経験されたことは、今後の活

動に役立つものと思われます。

（記　水上　正昭　13期）

◆ 日揮株式会社　パートナー林活動
（ やどりき近辺の山あるき）

日　11月1日（土）　9:00～14:30、　小雨

場　やどりき近辺の山

参　日揮（株）及びグループ会社の従業員と家族
　大人17名　（外国人9名）

イ　辻村⑨

「秋の特別企画鍋割山で鍋焼きうどんをたべよう」の副タイトルで後沢作業路を利用して登る予定であったが、あいにくの天候不順で危険を避けるため少しでも危険性の少ない雨山峠ルートに変更した、このルートも増水時を考慮し退避できるよう気を配りながら帰りのバス時刻に配慮し途中で引き返すことで雨模様の中を出発する。

管理棟前で水源林の仕組の概要を説明、人や動植物に欠かすことの出来ない水に関連する話をし、林道コースでは樹木版について注目が集まり質疑を受けながら楽しく歩みを進める。視野の広くなった河原では雲間から覗く周辺の山々が色好き始め秋が深まっている言葉が聞かれ、参加者は周囲の紅葉を遠望し満足感に慕っている様子である。

天候に恵まれなかったことが悔やまれる。

（記　辻村　寿　9期）

◆ 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ
森林保全活動『はじまりの森』

日　11月1日（土）　10:00～13:00、　小雨

場　南足柄市　塚原ボランティアフィールド
　「富士通グループ・神奈川　はじまりの森」

参　20名

イ　L海野⑩、後藤⑩

朝からポツポツと雨が降り出しましたが、小雨決行と連絡がありましたので、現地に9時過ぎに到着し、作業場所の確認と作業用具整備を行い、到着を待ちました。

皆さんは小田原駅西口からマイクロバス2台に便乗し、9時20分に出発、現地に10時過ぎに到着しました。

プレゼンテーション、ストレッチ後に、ひのき林の枝打ち作業を行いました。鬱蒼とした林も枝打ちを行うことで、明るくなりました。

雨の中、怪我をすることもなく無事終了することが出来ました。事務局に14期の掛札さんがいて、今後も計画的に活動するとの決意を聞くことが出来ました。今後とも宜しくお願い致します。

（記　後藤　幸雄　10期）

◆ 工藤建設株式会社
フローレンスガーデン感謝祭

日　11月2日（日）　10:00～15:00

場　横浜市青葉区　工藤建設（株）本社

参　1050名

スタッフ　主催者側　永野様⑥　助っ人　時田様⑩

イ　L米本②、柏倉④、中島⑨

工藤建設の住宅を購入したオーナーさんを招待する年に一度の感謝祭。第8回目となる今年は初めて1000名を越えました。森のコーナーは 1Fロビーでどんぐり工作150セットを用意しました。145セットを消化して 5 セットの残りでした。

主催者の永野さん、新しいイベントを模索されていて今回は時田さん⑩に助っ人でアロマのグッズを作る講座を開催「森のアロマテラピー講座」として 2 回行いました。お客様は喜んでいたようです。

参加者が多いこともあり昼時に集中するので、スタッフは昼食は取らずに3時の終了後に、東北6県の支援のグルメ屋台で取ることになりました。

私達は、

・なみえ焼きそば

・工藤建設のお肉コーナーの焼き肉

・宮城のズンダアイス　　で昼食としました。

その後森のコーナーにもどり後片づけをして解散しました。ニッパを使っているのに子供達ケガなど無く無事に終了してなによりでした。

（記　米本　力　2期）

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html

◆ 横浜市立浅間台小学校
（愛川宿泊体験学習　間伐）

日　11月3日（祝・月）　10:00～14:30、　晴れ
場　長竹承継分収林
参　小学5年生40名、　教師等７名
財　古舘様
イ　L武者⑦、井出①、伊藤⑦、大原⑬、小川⑬

担当インストラクターは朝8時半、愛甲石田駅に集合し「愛川ふれあいの村」へ向いました。打ち合わせの後、車で体験学習の現場・長竹継承分収林へ行き、生徒さん達の到着を待ちました。

青空のもと元気な姿の子供たちが先生方に導かれてやってきました。活動班は4班に分かれて、一班が10人を受け持ちました。インストラクターの指導のもと、ヘルメット・鋸・ゴーグルを装着して、体験場所である檜の山の中に入っていきました。

林業作業の中で一番危険度が高い間伐に対し、安全管理の徹底や作業手順などを説明しました。

そして生徒さんたちが一本の檜を順番に間伐鋸で切り始めました。実際に生木を切るのは初めてで、最初はぎこちなく鋸を扱っていましたが、徐々に慣れてきて男子も女子も一様に額に汗を滲ませながら真剣に作業をしていました。

伐倒・枝打ち・丸太切りのあと、それぞれのマイコースターを嬉しそうに作っていたのが思い出されます。
今回の間伐体験を通して、長竹承継分収林の林床に太陽が届き下草が生え、木々が大きく成長し見事に根を張って土砂崩れの起きない健康な山・・・そのように生徒さんたちが思いを育ててくれたら嬉しいです。

同行された校長先生をはじめとして、先生方が積極的にお手伝いをして下さいました。生徒さん達に厳しくされながらも優しく接しておられたのが印象的でした。

（記　小川　和恵　13期）

◆ キリンビール
「水源の森活動」

日　11月8日（土）10:00～13:30、曇り
場　やどりき水源林・キリンビール　パートナー林（1,26ha）
参　キリンビール横浜工場従業員・駐在部門従業員他　77名
スタッフ　総務広報担当　牧石様他
県　十鳥様、増田様
イ　L小沢⑨、渡辺③、宮本④、小野⑦、村井⑨、西出⑫、澤村⑫、焼尾⑬、稲野辺⑬

心配された雨も降ることなく、今回は4月につづき2回目の間伐活動が行なわれました。過去に何度も参加している方や初参加の方などの混合メンバーで9つの班をつくり、指定された場所までのぼりました。目的地に到着する頃には適度に汗もかき、急登のため参加者の口数も徐々に減っていった感も？！　そして、いざ目的地に到着すると、森林インストラクターによる説明を受けて作業を開始、選木された周囲の整理をした後、間伐作業に移り、メンバー全員で力を合せて受け口、追い口を入れていきました。その後、ロープを使って木を引き倒した時の表情は達成感にあふれていました。

今回は9班合計でスギ、ヒノキ合せて13本を間伐しさらに明るい森林になりました。

（記　稲野辺　健一　13期）

投稿概略フォーマットと略語の説明
（ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です）
◆ 活動団体・活動名　等
日　日付（できれば時間と天気も）
場　場所
参　参加者
県（神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課）
財　（(公財)かながわトラストみどり財団）、看　看護師
ｽﾀｯﾌ　例　小田原市森林組合ＸＸ様
　　例　川崎市公園緑地協会・ＸＸ様
イ　インストラクター（○数字：期）　研：研修枠
（以下本文を概ね400字を目安として執筆ください）
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

かながわ森林インストラクターの会は
『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で５番目／ＮＰＯ法人で初めて委嘱されています。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は２月号です。
森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林ミニガイド

12月のトピックス

この時期のやどりきは徐々にモノクロの世界に近づいています。

カマキリのタマゴです。
（12/14 撮影　松本）

1月の水源林

山々が冬に霜柱、氷柱、うまくすると雪がみられ、動物の足跡が見られかもしれません。

「森の案内人」情報

（12月、1月、2月は休止です。）

来春のお越しをお待ちしています。

●実施時間：毎週土曜・日曜・AM10 時・PM1 時，1～2 時間程度

●集　合：水源林入口ゲート前

●内　容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

＊10 人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：（公財）かながわトラスト みどり財団 TEL：045－412-2255
FAX：045－412-2300

- ホームページ：http://www.ktm.or.jp
- E-mal：　midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄（やどりき）」行き乗車約 25 分。バス下車後（案内板あり）川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報　＆　ご案内

ロウバイまつり

開催期間：平成 27 年 1/24～2/28
開催場所：松田町寄地区
お問い合わせ先：
松田町役場　観光経済課
TEL　0465-83-1228
（松田町観光協会のホームページより）
http://www1a.biglobe.ne.jp/matsuda-kanko/

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

＜広報全般についてのお問い合わせ＞
松本　保
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp
Tel：090－7962－3168

＜電子配信担当＞　赤崎　さほり
〒221-0865
横浜市神奈川区片倉 2-1-50
Tel：090-6150－6173
Mail：s_akasaki-k_instructor@live.jp

＜メール・手書き原稿送り先＞
【本誌】松本　保
〒246-0037
横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax：045-301-9401
電話連絡先：090－7962－3168
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口　俊則
〒250－0871
小田原市下堀 123
Tel/Fax：0465－42－7240
Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CC で】竹島　明
〒238－0045
横須賀市東逸見町 3-7
Tel/Fax：046－825－9281
Mail：2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまはHPで過去号もご覧になれます。
http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01　（HP 担当：井出恒夫）

編集後記

★本日、にゃんこが脱走致しました。カムバックトゥミー。゜(゜´Д｀゜)゜。
（赤崎）

★　ベランダで赤く色づいてきた千両の実が日にひに少なくなってきたと思いましたら、小さい鳥が枝にとまって食べていました。食料の少なくなるこの時期生きるために必死なんですね。
（小川）

★職場内でインフルエンザがまん延しましたが、予防マスクをしていたおかげ？で今のところセーフです。
（水口）

★二宮の私の畑では早くもふきのとうの子供が顔を出してうららかな日差しに気持ち良さそうです。
（徳岡）

★2015年は2008年が最後の使用となった三冊目のパスポートが期限切れになるので久しぶりに海外に行ってみようと思っています。
（松本）

◇　年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。
（頒　価　200円　送料共）

編集人：　松本　保
事務局：　竹島　明
広報部：　小沢章男　水口俊則
鈴木　朗　徳岡達郎　大塚晴子
加藤暖子　赤崎さほり　小川和恵
小池　哉
支援
伊藤恭造　川森健司　薗田栄哉

説明板

大きな COOK PINE はキャプテン・ジェームズ・クックがニューカレドニアで発見して、あちこちにもたらされたようです。写真の木はインドのバンガロールの公園にあるもので樹高132フィート。大きなものは樹高200フィートを超えるそうです。
（写真は川森さん⑪がインドで最近撮って来られたものです。）